

**平成27年度子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体及び個人
 文部科学大臣表彰 決定**

この表彰は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものである読書活動の一層の推進に資するため、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において特色ある優れた実践を行っている学校・図書館・団体及び個人に対して、その実践をたたえ、文部科学大臣が毎年度行っているものです。

平成27年度の京都府内の被表彰学校、図書館、団体は下記のとおりです。

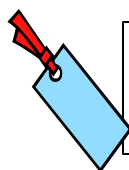
記

1 被表彰学校・図書館・団体

被表彰学校・図書館・団体名		代表者名
学校	亀岡市立畑野小学校	校長 清水 浩次
	京都市立上賀茂小学校	校長 谷 武彦
	京都聖母学院小学校	校長 澤井 広子
図書館	京都市山科図書館	館長 仲田 義明
団体	おはなしキャラバン「たんぽぽ」(舞鶴市)	代表 大田 恵子

2 表彰式

表彰式は、「子ども読書の日」(4月23日)に、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)で行われます。



問い合わせ先	学校教育課	伊藤指導主事	(075-414-5833)
	高校教育課	板津指導主事	(075-414-5854)
	社会教育課	片山総括社会教育主事	(075-414-5886)

被表彰学校・図書館・団体の顕著な取組

被表彰学校・図書館・団体		顕著な取組
学 校	亀岡市立畑野小学校 (校長：清水 浩次)	平成24年度から京都府小学校教育研究会の図書館教育部研究協力校として3年間の指定を受け、平成26年7月に「豊かな感性と確かな学びの力の育成ー学びをつなぐ図書館教育の在り方をめざしてー」を研究主題に発表会を開催した。京都府亀岡市の西端に位置するへき地1級指定校であり、児童数の減少から学級数も各学年1クラスと特別支援学級の小規模校である。このように地理的・人的な連携に不利な条件にあるが、児童間・地域間の連携を重視した研究を進め、「つながる」と「ひろげる」をキーワードとして「読書」を個から集団の学び合いにまでつなげ、自己肯定感の育成、知的好奇心の喚起、学習意欲の向上に成果をあげている。
	京都市立上賀茂小学校 (校長：谷 武彦)	上賀茂小学校は、平成24・25年度に文部科学省の「公立小・中学校読書活動推進校」及び京都市教育委員会研究指定「豊かな学びリーディングスクール推進事業」を受けて読書活動の実践に全校を挙げて取り組んでいる。学校図書館に情報カードを設置し、調べ学習で調べたことを蓄積し、児童同士で情報交換を行うなどして活用している。また、授業で活用できる、新聞・パンフレット・リーフレット等の資料を学校図書館に充実させ、学習・情報センターとしての機能を高めている。さらに平成25・26年度は、京都市教育委員会研究指定「21世紀型ICT教育の創造モデル事業」を受け、導入されたタブレット型端末により児童のICT活用能力が向上し、学習に必要な情報を素早く収集できるようになった。それらの取組を学校ホームページで全市に発信し、京都市の子どもの読書を推進する活動を牽引してきた。
	京都聖母学院小学校 (校長：澤井 広子)	聖母100選、図書館ニュース、特集展示(月に1回入れかえ)、読書マラソン、読書皆勤賞など、独自のとりくみを展開し、児童に読書意欲をもたせる活動を行っている。また、読書週間での、保護者ボランティア、教職員の活動、学院内他所属(短大、中高、幼稚園)朗読サークルなどの他団体とも連携した図書館交流を行っている。さらに、オリジナル開発の図書館システムでの図書館運営が進み、児童が自分で貸出、返却を行い、貸出履歴、予約状況が確認できるなどの利用者教育を進めている。2012年に平湯図書館家具を導入し、暖かく親しみやすく、使いやすい図書館環境を充実させている。
図 書 館	京都市山科図書館 (館長：仲田 義明)	山科図書館は、情報の発信拠点として、これまでから「おたのしみ会」や「よんでよんで赤ちゃんの会」などの子どもを対象とした事業を地域の人々との「共汗」により展開してきている。特に近年では、山科区と区民が中心になって地域のつながりを深めるために行っている「きずな支援事業」の一環として、地域の中学校が実施する「中学生による小学生への読み聞かせ」活動を実技指導というかたちで継続して支援し、当初は1校のみに対し行っていた読み聞かせの指導に、別の学校からも依頼が来るなど、着実に成果をみせている。また、京都市図書館では平成26年度から中学生の読書推進活動を重点的に行う図書館を「中学校読書活動モデル図書館」として指定しており、山科図書館はこれまでの実績から、初年度のモデル館に指定され、中学校との連携を通じた子どもの読書活動推進に一層貢献している。
団 体	おはなしキャラバン「たんぽぽ」 (代表：大田 恵子)	昭和60年の設立以来30年の長きにわたり、舞鶴市内を活動範囲として、乳幼児や児童を対象に、読み聞かせや人形劇などによる物語の紹介を中心に継続して取り組んでいる。特に、舞鶴市立明倫小学校では、一昨年度学校図書館支援ボランティアが引き継ぐまで、読書ボランティア活動・読み聞かせを継続して5年間行ったり、舞鶴市立余内小学校においては現在も読書ボランティア活動・読み聞かせを継続して行ったりしている。(10年目)また、学校、幼稚園、保育所、地域の子ども会や学童保育などからの多くの要請に応じて、幅広く出前のボランティア活動を展開している。舞鶴市立西図書館との連携の歴史は長く、月例の「おはなし会」のほか、春季、冬季など年2～4回人形劇の上演も盛り込んだ「おはなし会」を共催し、子どもたちの想像力を刺激し、物語の楽しさを伝える場を提供し、お話に興味を持たせ本の世界へ誘う活動を行ってきた。あわせて、設立当初から、読み聞かせなどに興味関心のある人材を広く受け入れ、会員相互が切磋琢磨し、その成果を子どもたちに還元してきた。舞鶴市における人材育成の観点からもこの団体が果たしてきた役割は大きなものがある。